

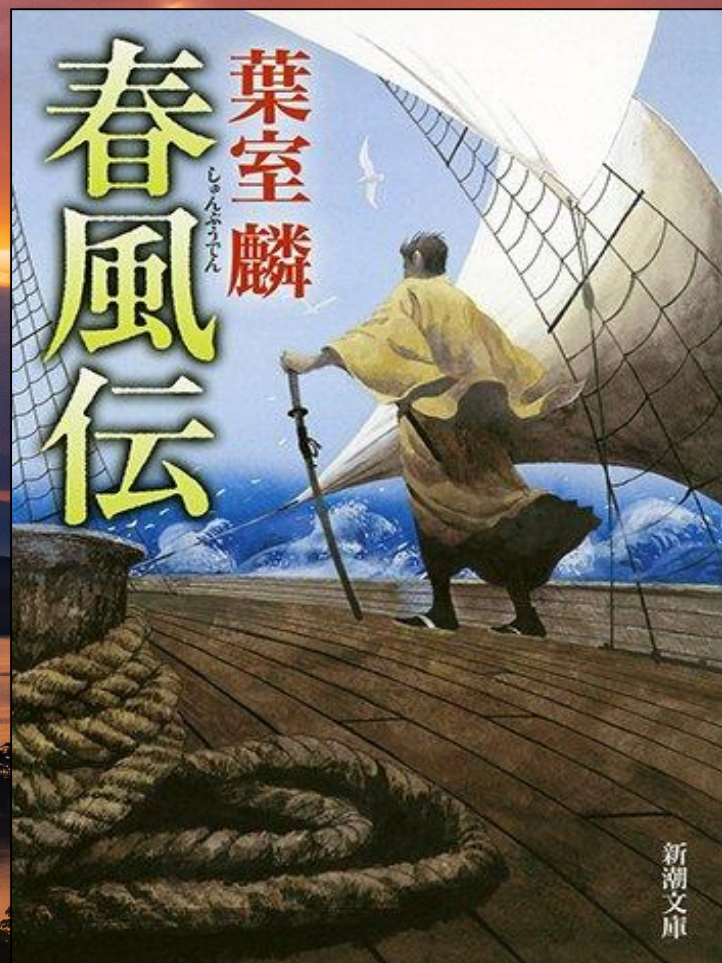
今日の1冊

【内容】

長州藩士・高杉晋作。攘夷か開国か、国論二分する幕末に、上海に渡った晋作は、欧米列強に蹂躪される民衆の姿を目の当たりにし、「革命」に思い至る。日本の将来を見据えた男の短くも激しい生涯を、壮大なスケールで描く。

春風伝

葉室 麟 著



【著者紹介】

葉室麟（はむろ・りん）
一九五一年北九州市生まれ。西南学院大学卒業。地方紙記者などを経て、「乾山晩愁」で歴史文学賞を受賞し、作家デビュー。「銀漢の賦」で松本清張賞を受賞。